

金沢市災害廃棄物受入れ可能性検討会の現地調査について

1. 調査日時 平成 24 年 7 月 5 日（木）10:00～16:00

2. 調査場所 岩手県宮古市および大槌町

3. 参 加 者 金沢市災害廃棄物受入れ可能性検討会の委員 6 名
吉岡座長、荒井委員、棚谷委員、山本委員、横江委員、坂井委員

4. 調査結果

（1）災害廃棄物の状況

- ・二次仮置場では、可燃系混合物と不燃系混合物を破碎、ふるい、手選別などで中間処理をしている。宮古地区は鹿島建設 JV が、大槌地区は竹中土木 JV が県から委託を受け、プラントを運営している。
- ・粉じん、アスベスト、硫化水素等の有毒ガス、悪臭、騒音・振動については、毎日測定している。
- ・現在の広域処理先は、東京都、秋田県（大仙市）、吾妻東部衛生施設組合（群馬県）で放射能濃度等の測定は、搬出時ごとに行っている。

（2）放射能濃度の測定

広域処理の対象となっている選別後の災害廃棄物（下記の 5 種類）の放射能濃度を委員の指導によりサンプリングし、現地で委託業者が測定。測定結果は 2 週間後の予定。

（宮古市藤原埠頭）

- ① ふるい下分（概ね 20mm 以下の土砂等）
- ② 不燃物
- ③ 漁具・漁網

（大槌町）

- ④ 可燃物（概ね 20mm 以下）
- ⑤ 可燃物（概ね 50mm 以下）

（3）放射線量の測定

上記 5 種類の災害廃棄物の付近で、市職員が空間放射線量を測定。また、遮蔽放射線量は、現地で委託業者が測定。測定結果は 2 週間後の予定。

【空間放射線量】

（宮古市藤原埠頭）13 箇所で測定

- ・ 0.05～0.07 マイクロシーベルト／時

（大槌町）9 箇所で測定

- ・ 0.06 マイクロシーベルト／時

※金沢市内 65 箇所では 0.04～0.08 マイクロシーベルト／時（H24.3～4 測定）



① 中間処理プラント



② 概ね 20mm 以下の土砂等



③ 不燃物



④ 漁具・漁網

大槌町



① 施設全景



② 選別作業



③ 可燃物



④ 手選別作業